

# 進路だより

第2号 R6.2.16  
愛知県立三好特別支援学校  
進路指導部

今回の進路だより第2号では、高等部の卒業生の様子、小学部の保護者研修会、中学部のチャレンジ体験と進路情報連絡会について、報告します。本校の進路指導について知っていただき、お子さんの将来を考える参考にしてください。

## ～卒業生の様子から～



昨年度の高等部卒業生が社会人になり、間もなく1年となります。進路先を訪問し、卒業生が頑張っている点や、こうした方がよいというアドバイスについてお話を伺いましたので、その一部をお伝えします。

### 【頑張っている点】

#### 企業

- ・笑顔でコミュニケーションをとることができる。人当たりが良いので職場でも好かれている。
- ・残業は自己申告制だが、必要に応じて自分から報告して取り組むなど前向きである。

#### 障害福祉サービス事業所

- ・少しずつスタッフや同僚、仕事に慣れてきたことで、周囲の会話にも参加し、楽しく過ごすことができている。
- ・遅刻や欠席がなく、真面目に仕事に取り組むことができている。
- ・親離れ、子離れができており、本人にも自立したいという気持ちが育っている。

### 【アドバイス】

#### 企業

- ・実習では頑張れるが、入社後に気が抜けてしまうことがあった。目標をもつことや、余暇活動を充実させることが必要である。
- ・悩みを一人で抱え込み、負担になってしまったことがあった。家庭のサポートがとても重要になる。常にお子さんの様子を気にかけて、話を聞いて助言をしたり激励をしたりしてほしい。

#### 障害福祉サービス事業所

- ・食事、排せつ、着替えなど、自分でできることは自分でやるようにしておくことよい。
- ・社会に出たら、親離れ、子離れをしていくよう促している。学校にいる間に意識して、徐々にできるところから手を離していけるとよい。

この他にも多数の意見を伺いました。上記のようなことを意識して、御家庭でも取り組んでいただけるとよいと思います。生徒たちが、長い人生をよりよく生きるためのヒントになればと思います。

## ～小学部保護者研修会の紹介～

今年度は、「卒業後の進路先のイメージ、小学部で身に付けたい力、子どもの行動を理解するために知っておきたいこと」について取り上げました。

### 小学部で身に付けたい力



自己肯定感=自信を育くむ



(何らかの手段で)自分の気持ちを伝える



(基本の)行動を習慣づける

低学年のうちから身の回りのことを始め、「待つ」「注目する」「話をきく」などの「基本的な行動」を身に付けていくことが将来の生活のベースになります。研修会では、これらの力を付けるために、学校ではどのような実践をし、お子さんがどのように頑張っているか、写真などを交え紹介しました。

また、子どもの行動には必ず理由があること、なぜその行動をするのか理由を知り、子どもの行動をABC フレーム(行動前→行動→行動後の3つのシーン)に当てはめて考えることで、不適切な行動を望ましい行動に変えていくポイントについて学びました。

## 中学部 3 年生チャレンジ体験

1月25日(木)に、豊田市にある「ハートランド豊田の杜」「ハートピア豊田の杜」で見学体験を行いました。両施設の御厚意で、入浴剤作りや袋詰め、そして缶つぶしなどの体験をさせていただきました。生徒から、「(通勤は) どうやって通っているんですか?」「(お昼は) 給食ですか?」など、積極的に質問する姿も見られ、将来の自分像について考えるきっかけになったようです。今回の見学体験が3年生にとって、「働く」ことに対する意識の芽生えにつながっていくとよいです。

入浴剤作り



音楽レクリエーション体験



缶つぶし体験



## 中学部 2 年生進路情報連絡会

1月25日(木)に、中学部2年生の保護者を対象に、高等部卒業生の保護者からの方に話しをしていただきました。卒業後の進路に向けて、先輩のお母さんからのアドバイスを紹介します。

**質問:** 中学部で取り組んでおくことよいことについて

→生活リズムを整えました。(早寝・早起きを意識させていました)

家でも本人の仕事として、食器の片付けなど役割を決めていました。現在でも続いています。  
どんな小さなお手伝いでも、任されることで責任感が芽生えたようです。

**質問:** 相談支援専門員とどんなときに連絡を取っていましたか?

→気になる施設の情報をもらったり、選択肢を増やすために、生活介護事業所などの卒業先の受け皿を持つ放課後等デイサービスを教えてもらったりしました。また、事業所の空き状況を調べてもらったり、事業所の見学をさせてもらう前後には連絡を入れ、気になったことは教えてもらうようにしました。相談員さんと密に連絡を取り合って良い関係性を築いていけば、良いアドバイスをたくさんもらえると思います。

**質問:** 何を決め手に進路先を選びましたか?

→①送迎の有無 ②スタッフさんの雰囲気や考え方 ③活動内容と時間帯 ④作業内容です。この4点をポイントに見学し、最終的には本人の意思を聞いて決めました。

## 卒業生保護者からのエール

親が入りたいところと子どもが入りたいところは本当に同じなのか、それを見極めるためには、やはりたくさん見学して、担当者とじっくり話し、実習をしていくことだと思います。

